

Duo x Duet.

Ensemble of voices & instruments, 2011 summer



Duo (デュオ) : 二重奏

×

Duet (デュエット) : 二重唱

東京藝術大学、モーツァルテウム音楽大学を経て

国内外で活躍する若手音楽家四名がおくる

ソロから四重奏までの様々な編成による

バロックと現代の宗教曲集。

どこにいても、祈りの心は同じ —

世界中にちりばめられた祈りの数々を

つなぎ合わせるように集めました。

明日へ、未来へ紡ぐ祈りのプログラム。

KITAKADO Ikuko / Violin

北門 郁子 ヴァイオリン

3歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京芸術大学を経て、2007年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学大学院修士課程を最優秀の成績で卒業。

第45回、第47回全日本学生音楽コンクール第1位、2005年ヴィナロス国際室内楽コンクール(スペイン)、マルコ・フィオリンド国際音楽コンクール(イタリア)で優勝、2006年カルロ・ソリヴァ国際室内楽コンクール(イタリア)第3位、2009年ラス・コルツ国際音楽コンクール(スペイン)審査員満場一致で優勝などの受賞歴を持つ。1999年第1回横浜ザハール・ブロン・ヴァイオリンセミナーを受講。また、ヨーロッパ各地の講習会にて、ジャン=ジャック・カントロフ、ルジェーロ・リッチ、ピエール・アモワイヤルの各氏に薫陶を受ける。近年ではザルツブルク・ミラベル宮殿、ザルツブルク大聖堂、オーベルンドルファー・マイスターコンサートシリーズにてソロや室内楽で演奏しているほか、著名な音楽祭(モントセラト国際室内楽音楽祭、サンタ・クリスティーナ・ダロ国際室内楽音楽祭、ハッポ・北杜国際音楽祭など)にも数多く出演している。

また2004年にザルツブルクにてPamina Trio(ピアノ:服部慶子、クラリネット:ベアトリス・ロベス)を結成し、国内外で積極的な演奏活動を展開している。

これまでに、イゴール・オジム、ヴォルフガング・マルシュナー、故・田中千香士、清水高師の各氏に師事。現在は演奏活動の傍らモーツァルテウム大学にてラインハルト・ゲーベル氏よりバロックバイオリンの薫陶を受けている。

HATTORI Keiko / Piano

服部 慶子 ピアノ

3歳よりピアノを始める。東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業、その後財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生としてザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学大学院で研鑽を積み、2008年最優秀の成績で卒業。

第17回シューベルト国際音楽コンクール(イタリア)優勝、第61回ジュネーヴ国際音楽コンクール特別賞、第2回ボン国際ベートーヴェンピアノコンクール(ドイツ)にて第2位及び聴衆賞、全ての特別賞を受賞。

ウィーン・ムジークフェライン(オーストリア)、ベルリン・コンチェルトハウス、ハンブルグ・ムジークハレ、ケルン・フィルハーモニー、ミュンヘン・ヘラクレスザール(ドイツ)、サントリーホールや紀尾井ホールなどにもデビューを果たす他、国内外の著名な音楽祭にも招聘され出演を重ねている。ペーター・ギュルケ指揮ケルンWDR放送管弦楽団やシュテファン・ブルニエ指揮ベートーヴェンオーケストラ・ボン、イェジー・サルヴァロフスキ指揮ポーランド国立チェンストホヴァ・フィルハーモニー管弦楽団などと協演、また室内楽ではシュテファン・ピカール(Vn.)やミッシェル・マイスキー(Vc.)、アサセッコ弦楽四重奏団などと共演している。

これまでにヴェラ・ゴルノスタエヴァ、カール=ハインツ・ケマーリング、故・神野明、江口文子、堀江孝子、山城浩一、近藤千穂の各氏に師事。

SHIBATA Mayumi / Soprano

柴田 真由美 ソプラノ

秩父市出身、県立秩父高校卒業。

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、卒業時に同声会賞を受賞し、新人演奏会に出演。同大学院修士課程オペラ科修了。

2006年よりヤマハ音楽振興会の奨学生としてザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学、留学中にメゾ・ソプラノからソプラノに転向。ザルツブルク近郊の教会等でソリストをつとめる他、ザルツブルク・バッハ協会演奏会、チロル・イスター音楽祭などにも出演し、好評を博している。

また、イェルク・エーヴァルト・デーラーによる宗教曲マスタークラスに参加の他、モーツァルテウム音大にてヘレナ・ラザルスカのマスタークラスを、スロヴェニアのスロヴェニグラデーツにて国際ヴォルフ歌曲解釈マスタークラスを修了。

現在は演奏活動の傍ら、モーツァルテウム音大にて声楽の指導法も学んでいる。これまでに声楽を福田圭位子、高折績、三林輝夫、河合武彰、エルンスト・ヘフリガー、マリア=アンナ・シャルトナー、モニカ・レンツの各氏に、歌曲解釈をブレダ・ザコトニック氏に師事。

TAKAGI Taro / Tenor

高木 太郎 テノール

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。国際ロータリー財団奨学生として、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学、同大学院リート・オラトリオ科を2010年に修了し、現在は研究科に在籍中。声楽を河合武彰、原田茂生、多田羅迪夫、バーバラ・ボニー、モニカ・レンツ、ベラ・ミュラーの各氏に、歌曲解釈をブレダ・ザコトニック氏に師事。ルネッサンスから現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、これまでに数多くのオペラやコンサート等のプロジェクトにザルツブルク音楽祭、ザルツブルク聖霊降臨音楽祭、チロル・イスター音楽祭、ザルツブルク州立歌劇場、国際バッハ週間、小澤征爾音楽塾、サイトウキネン・オーケストラ、BCJ(バッハ・コレギウム・ジャパン)一等に参加、またモーツァルトが作品を献呈し、演奏を行っていた事でも知られるザルツブルク大聖堂や聖ペーター教会をはじめ、ヨーロッパ各地の教会におけるミサやコンサートにソリストとして出演している。

ザルツブルク・バッハ協会および日本唐揚協会会員。

好きな物は鳥の唐揚とビール。

ブログ:「今日のビール、またはあるテノールの忘備録」

<http://kyounobeer.blog137.fc2.com/>